

株式会社ヤマデン

2023年度 環境経営レポート

(対象期間：2023年 9月～2024年 8月)



エコアクション21
認証番号0009088

発行日： 2024年11月14日
改正日： 2025年1月29日

環境経営方針

昨今地球温暖化（省エネ）等、地球に優しい行動を問われている中、電気工事業の当社において、経営における課題とチャンス定期的に明確化し活動すると共に、環境配慮型の製品（LED電灯・太陽光発電）の提案をし当社、他社共に省エネの実践を先駆け進んで取り組み、環境に配慮した活動を推進していきます。また、産業廃棄物の分別に取り組み、資源を大切にすよう社員教育を行い徹底して資源の無駄遣いをしないように継続的に改善していきます。

- 1 電気工事の環境配慮をします。
 - ・太陽光発電の提案、使用する製品をLED照明や、省エネタイプの提案
 - ・お客様の省エネ施工の為の製作機器の提案
- 2 一般・産業廃棄物の発生量の低減を心掛け、電設、建設資材発注時には使用数量を再確認します。
- 3 作業の効率化を図り、事業活動に伴う環境負荷の軽減に努めます。
 - ①二酸化炭素排出量削減として電力使用量、燃料使用量の削減
 - ②排水量削減として水使用量の削減
- 4 環境関連法規制等や当社が約束したことを遵守します。
- 5 この環境経営方針は全従業員に周知させます。

制定日 2012年5月10日

改定日 2024年4月22日

代表取締役 下山 英毅

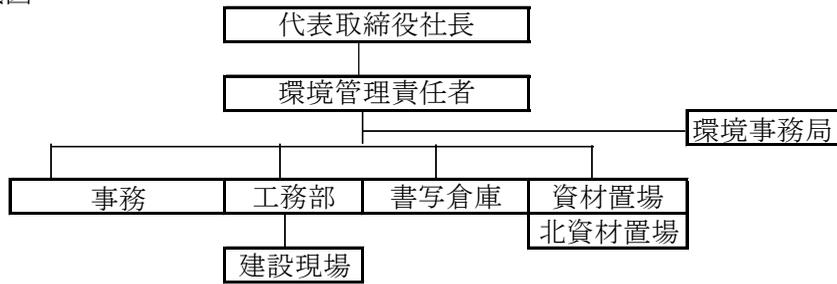
II. 組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社ヤマデン
代表取締役 下山 英毅
- (2) 所在地
本 社 〒670-0064 兵庫県姫路市東夢前台1丁目3番30
書写倉庫 〒671-2201 兵庫県姫路市書写2688番地7
資材置場 〒670-0064 兵庫県姫路市東夢前台1丁目3番13
北資材置場 〒670-0064 兵庫県姫路市東夢前台1丁目3番16
- (3) 環境管理責任者及び担当者の氏名と連絡先
責任者 部長 寺村 秀明 TEL : 079-293-0931
担当者 岡野 優子 FAX : 079-296-1016
E-Mail : info@kk-yamaden.co.jp
HP : http://www.kk-yamaden.co.jp/
- (4) 事業内容
本 社 電気設備、空調設備、火災報知設備、弱電設備、防犯設備の各工事
書写倉庫 自動制御工事、制御盤製作、ロボット製作
- (5) 事業の規模
設立 1980年12月
資本金 2000万円
売上高 51,000 万円 (2023年度実績)

各事業所の規模

	本社	書写倉庫	資材置場	北資材置場	合計
従業員	12名	無人	無人	無人	12名
延べ床面積	312㎡	146㎡	98.5㎡	98.5㎡	655㎡
敷地面積	600㎡	150㎡	100㎡	100㎡	950㎡

(6) 組織図



	役割・責任・権限	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・環境経営レポートの承認 ・課題とチャンスの明確化 	
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規制等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認 	
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施 ・環境教育訓練計画の作成と実施の管理 ・特定された項目の手順書作成(緊急事態への対応を含む) ・環境経営レポートの作成、公開(事務所への備付けと地域事務局への送付) 	
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の運用管理 ・緊急事態対応手順テスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施 	
工事責任者 (現場代理人)	<ul style="list-style-type: none"> ・建設現場における環境経営システムの実施 ・工事担当者及び協力会社員に対する教育訓練の実施 ・建設現場の環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・緊急事態対応訓練の実施、記録の作成 ・建設現場での問題点の発見、是正、予防措置の実施 	
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 	

(7) 事業年度

9月～翌8月

Ⅲ. 認証・登録の対象範囲

登録組織名： 株式会社ヤマデン
 対象事業所： 本社、書写倉庫、資材置場、北資材置場
 対象外： なし
 活動： 電気設備、空調設備、火災報知設備、弱電設備、防犯設備の各工事
 自動制御工事、制御盤製作、ロボット製作

Ⅳ. 主な環境負荷の実績

項目	単位	2017年度 基準年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	36,081	33,358	30,751	29,333	20,800
電力使用量	kWh	10,657	10,080	11,626	12,629	11,027
ガソリン使用量	L	10,994	11,687	10,633	10,364	7,158
軽油使用量	L	2,719	1,115	853	401	198
廃棄物排出量	kg	3,211	4,259	2,948	4,204	4,211
一般廃棄物	kg	111	99	88	376	326
産業廃棄物	kg	3,100	4,160	2,860	3,828	3,885
水道水使用量	m ³	120	120	120	129	129

Ⅴ. 環境経営目標及びその実績

(1) 目標

項目	単位	年度				
		基準年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
Ⅰ. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	36,081	34,818	34,638	34,457	34,277
	対基準 2017年実績		△3.5%	△4%	△4.5%	△5%
電力使用量削減 0.334	kWh	10,657	10,284	10,284	10,284	10,284
	kg-CO ₂	3,559	3,434	3,434	3,434	3,434
ガソリン 使用量削減 2.32	L	10,994	10,609	10,609	10,609	10,609
	kg-CO ₂	25,506	24,613	24,613	24,613	24,613
軽油 使用量削減 2.58	L	2,719	2,623	2,623	2,623	2,623
	kg-CO ₂	7,015	6,769	6,769	6,769	6,769
Ⅱ. 廃棄物排出量削減						
1) 一般廃棄物 削減	kg	111	107	107	106	105
	対基準 2017年実績		△3.5%	△4%	△4.5%	△5%
2) 産業廃棄物 削減	kg	3,100	2,991	2,976	2,960	2,945
	対基準 2017年実績		△3.5%	△4%	△4.5%	△5%
Ⅲ. 建設リサイクル率 の向上	%	81.1	83.5	83.9	84.3	84.7
	対基準 2019年実績		+3%	+3.5%	+4%	+4.5%
Ⅳ. 水使用量 削減	m ³	120	115	115	115	115
	対基準 2017年実績		△3.5%	適正管理	適正管理	適正管理
Ⅴ. 環境に配慮した 施工の推進	件	51	63	64	64	65
	対基準 2019年実績		+25%	+26%	+27%	+28%

注) 電力の二酸化炭素排出係数は、関西電力(株)2018年度調整後係数
 0.334kg-CO₂/kWh を使用。

※化学物質使用量の削減項目は、化学物質を使用していない為目標設定しておりません

(2) 実施期間の実績

項目	年度	実施期間における実績 (2023年9月～2024年8月)				
		9月～8月				
		基準値	目標	実績	達成度	評価
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂ 対基準	36,081	34,638	20,800	167%	○
		2017年基準	△4%			
電力使用量削減	kWh	10,657	10,284	11,027	93%	×
排出係数 0.334	kg-CO ₂ 対基準	3,559	3,434	3,683		
		2017年基準	適正管理			
ガソリン 使用量削減	L	10,994	10,609	7,158	148%	○
排出係数 2.32	kg-CO ₂ 対基準	25,506	24,613	16,606		
		2017年基準	適正管理			
軽油 使用量削減	L	2,719	2,623	198	1326%	○
排出係数 2.58	kg-CO ₂ 対基準	7,015	6,769	510		
		2017年基準	適正管理			
II. 廃棄物削減						
一般廃棄物 削減	kg 対基準	111	107	326	33%	×
		2017年基準	△4%			
産業廃棄物削減 (混合廃棄物)	kg	3,100.0	2,976	3,885.0	77%	×
			△4%			
III. 建設リサイクル率 の向上						
IV. 水使用量 削減	m ³ 対基準	81.1%	83.9%	28%	33%	×
		2019年基準	+3.5%			
V. 環境に配慮した 施工の推進	件 対基準	120	115	129	89%	×
			適正管理			
		51	64	47	73%	×
		2019年基準	+26%			

注1) 達成度欄にて、削減を目指す場合は、達成度＝目標÷実績×100%、増加を目指す場合は、達成度＝実績÷目標×100%

注2) 評価欄にて、○：達成（100%以上）、△：やや未達成（95%～100%未満）、×：未達成（95%未満）

注3) 建設リサイクル率の実績＝再資源化量（803kg）／産業廃棄物発生量（3828kg）

注4) 環境に配慮した施工：①環境に配慮した工法、提案、②環境にやさしい資材の採用、③長寿命の資機材への切替え

VI. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	実施状況	評価結果と次年度の環境経営計画
二酸化炭素排出量の削減 (目標達成)		
(下記の通り)		
電力使用量の削減 (目標未達成) 主な原因:空調温度の設定		
・空調温度の適正化 (冷房28℃暖房20℃)	◎	外気の気温を見ながら、適切な温度調整ができた
・不要照明の消灯	◎	センサー付ライト等を活用出来ている
・窓等の断熱化・遮熱化	◎	ロールスクリーンを設置し直射日光を防ぐことが出来た
ガソリン使用量の削減 (目標達成)		
・急加速の抑制	◎	エコドライブを実施していきたい
・運転者教育	○	定期点検表等作成していきたい
・冷暖房抑制	○	現場での休み時間等のアイドリングを控えていく
軽油使用量の削減 (目標達成)		
・急加速の抑制	○	もっと意識しエコドライブを実施していきたい
・運転者教育	◎	定期点検表等作成していきたい
・冷暖房抑制	◎	現場での休み時間等のアイドリングを控えていく
一般廃棄物の削減 (目標未達成) 主な原因: ミスコピーの増加		
・帳票類の見直し	○	帳票類記入前に再確認確認徹底出来た
・ミスコピー防止の継続	◎	印刷前のプレビュー徹底が出来た
産業廃棄物の削減 (目標未達成) 主な原因: 現場の増加		
・分別の徹底	◎	きめ細かな分別が出来てきている
・再利用の推進	○	再利用出来るものの選別をもっとしていきたい
建設リサイクル率の向上 (目標未達成) 主な原因: 現場の増加		
・分別によるリサイクルの推進	◎	部品一つからリサイクル対象という意識をもって分別推進していきたい
水使用量の削減 (目標未達成) 主な原因: 洗車等の水の使い方		
・節水の周知徹底	◎	より徹底を図る
環境に配慮した施工の推進 (目標未達成) 主な原因: 情報収集不足		
・工事分野別の技術・ノウハウの収集	○	補助金、助成金等、取引先に紹介できるようにリストアップしていく
・環境配慮施工の推進	○	環境に合った施工を推奨し、施工できている
・営業活動強化する	○	新規取引先等リストアップをしていく

Ⅶ. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	遵守
建設リサイクル法	建設業を営む者の責務、再資源化等実施義務	遵守
家電リサイクル法	特定家電4品目の適正な事業者（家電販売店等）への引き渡し	遵守
自動車リサイクル法	使用済自動車の適正な事業者（引取登録事業者）への引き渡し	遵守
自動車NOx・PM法	規制対象車両の登録禁止、規制対象車両の指定地域通行禁止	遵守
消防法	避難訓練の実施、消火器の設置、消防設備士免状の確認・更新	遵守
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の定期点検と記録、漏洩防止、廃棄時の適切な処理	遵守
PCB処理法	自らの責任において確実かつ適正に処理、保管及び処分の報告	遵守
電気工事士法	第一種電気工事士免許、第二種電気工事士免許、特殊電気工事資格者、認定電気工事従事者の各資格の作業に従事する	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。
 なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

Ⅷ. 代表者による全体の評価と見直し・指示

長年エコアクション21を取り組んでいき、排出量等下げられないところも多々あるので適正管理項目を増やしていき今後もエコアクション21を取り組んでいきたいと思っております

項目	見直し要否	見直し内容
環境経営方針	否	-
環境経営目標	否	-
環境経営計画	否	-
実施体制	否	-
その他	否	-

2024年10月12日
 代表取締役 下山 英毅